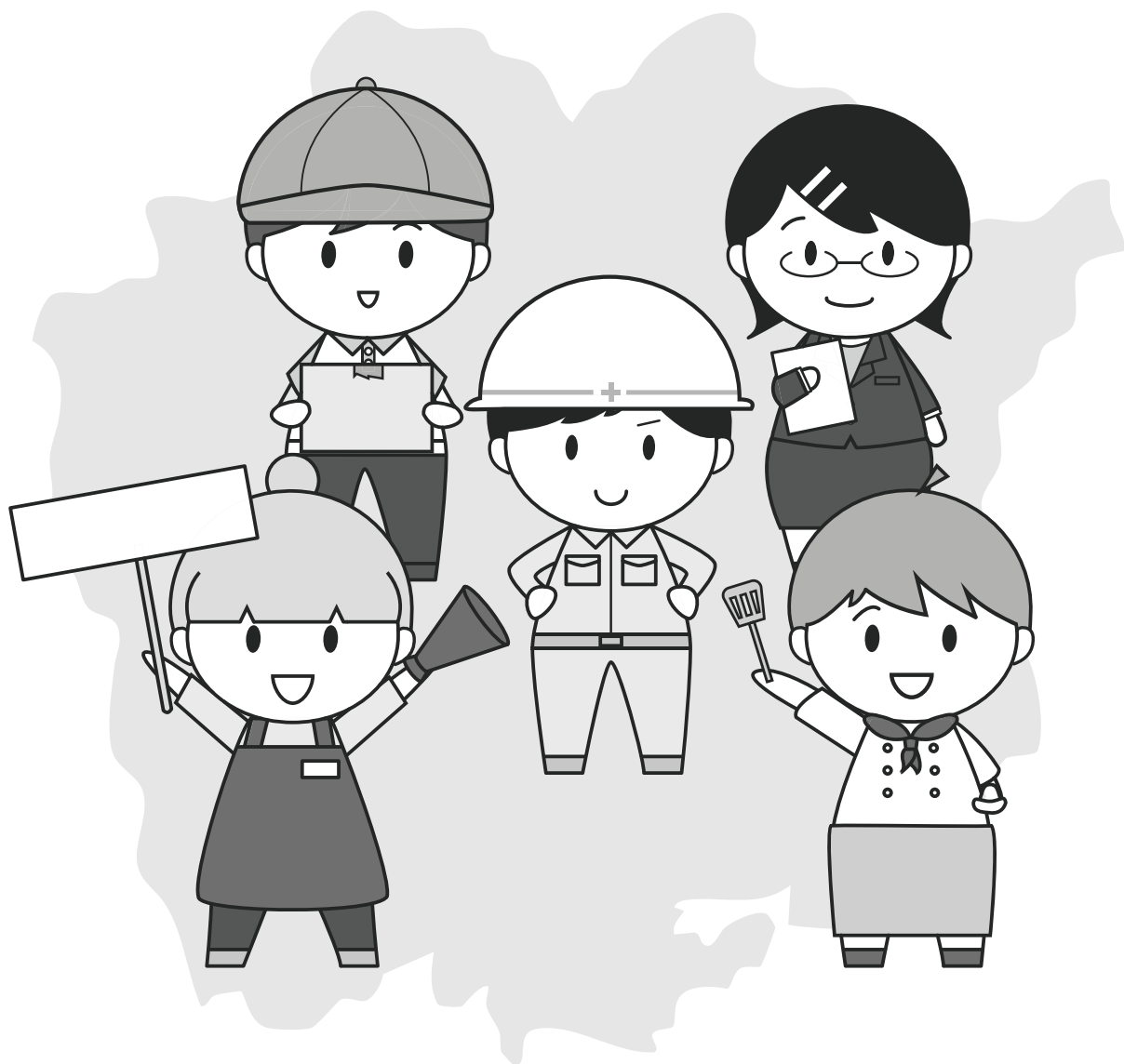


# 中小企業景況調査報告書

令和 7 年度

第 1 回（令和 7 年 4 月～6 月期）



岡山県商工会連合会

## 調査要領

### 1 調査方法

下記調査対象商工会地区の該当企業を経営指導員が直接訪問して調査した。

### 2 調査時期

令和7年4月～6月期の実績（6月は見込）及び令和7年7月～9月期の見通しを対象としたこの調査は、令和7年6月1日時点で実施した。

### 3 調査対象

《商工会別等の区分》

商工会名	産業別、人口規模別市町村類型別内訳	企業数	業種別企業数			
			製造業	建設業	小売業	サービス業
岡山北	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	4	5
岡山西	〃	15	3	3	4	5
岡山南	〃	15	4	2	6	3
瀬戸内市	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
つくば	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	4	2	5	4
総社吉備路	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	3	4	4
真備船穂	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	5	4
備中西	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	4	2	4	5
備北	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	2	6	3
真庭	〃	15	3	3	4	5
鏡野町	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	2	2	5	6
久米郡	〃	15	3	2	4	6
合計	12商工会	180	41	30	55	54

### 4 DIとは

DIとはディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向を表す指標のことである。算出方法は増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いて計算する。DIがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）となるが、商品仕入、販売などの単価の場合は、プラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となる。

例えば、売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合は、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、売上高に対して強気（楽観）の度合いを表している。

また、商品仕入単価で上昇企業20%、不変企業30%、低下企業50%の場合は、 $DI = 20 - 50 = -30$ となり、商品仕入単価に対して低下気運の度合いを表している。

# 目 次

	頁
1 産業全体の景況概況	2
(1) 産業全体の業況	2
(2) 業種別の景況概要	2
(3) 主要4項目及び業況判断D I の推移	4
2 製造業の景況	6
(1) 主要項目の動き	6
(2) 主要3項目の状況	7
(3) 経営上の問題点の状況	8
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	8
(5) 主要景況項目の概況	9
3 建設業の景況	10
(1) 主要項目の動き	10
(2) 主要3項目の状況	11
(3) 経営上の問題点の状況	12
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	12
(5) 主要景況項目の概況	13
4 小売業の景況	14
(1) 主要項目の動き	14
(2) 主要3項目の状況	15
(3) 経営上の問題点の状況	16
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	16
(5) 主要景況項目の概況	17
5 サービス業の景況	18
(1) 主要項目の動き	18
(2) 主要3項目の状況	19
(3) 経営上の問題点の状況	20
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	20
(5) 主要景況項目の概況	21

# 1 産業全体の景況概況

産業全体の業況DIはやや悪化した。製造業・建設業ではコスト増と人手不足が利益を圧迫、小売業・サービス業では価格転嫁が進むも、仕入単価上昇や需要停滞で改善は限定的。物価動向や雇用、海外情勢など先行きの不透明感が高まっている。

## (1) 産業全体の業況

- ・産業全体の業況DIは、-19.0とやや悪化した（前期差0.5ポイント減少）。来期は6.2ポイント上昇し、-12.8と景況感の持ち直しが予想される。
- ・売上（完成工事）額DIは、2期連続で上昇し、-13.3となった。来期見通しは-15.0であり、マイナス幅がやや拡大する見通し。
- ・採算DIは、2期連続でマイナス幅が縮小し、-22.0となった。来期見通しは-21.9であり、ほぼ横ばいで推移すると予想。

## (2) 業種別の景況概要

**製造業** 「業況判断DI」は、-9.8、対前期比7.3ポイントの好転（P.6）

経営上の問題点	
第1位	需要の停滞
第2位	原材料価格の上昇
第3位	製品ニーズの変化

業況判断DI値は、好転が増加、不変が悪化が減少した。主要DIの前期比較は、売上（加工）額DIが増加、採算DIが好転、資金繰りDIが悪化、従業員DIが減少した。

**建設業** 「業況判断DI」は、-23.4、対前期比13.4ポイントの悪化（P.10）

経営上の問題点	
第1位	材料価格の上昇
第2位	民間需要の停滞
第3位	熟練技術者の確保難

業況判断DI値は、好転、不変が減少、悪化が増加した。主要DIの前期比較は、完成工事額（請負工事）DIが増加、採算DIが悪化、資金繰りDIが悪化、従業員DIが減少した。

**小売業** 「業況判断DI」は、-35.1、対前期比4.9ポイントの悪化（P.14）

経営上の問題点	
第1位	仕入単価の上昇、消費者ニーズの変化への対応
第3位	購買力の他地域への流出、需要の停滞
第5位	店舗の狭隘・老朽化

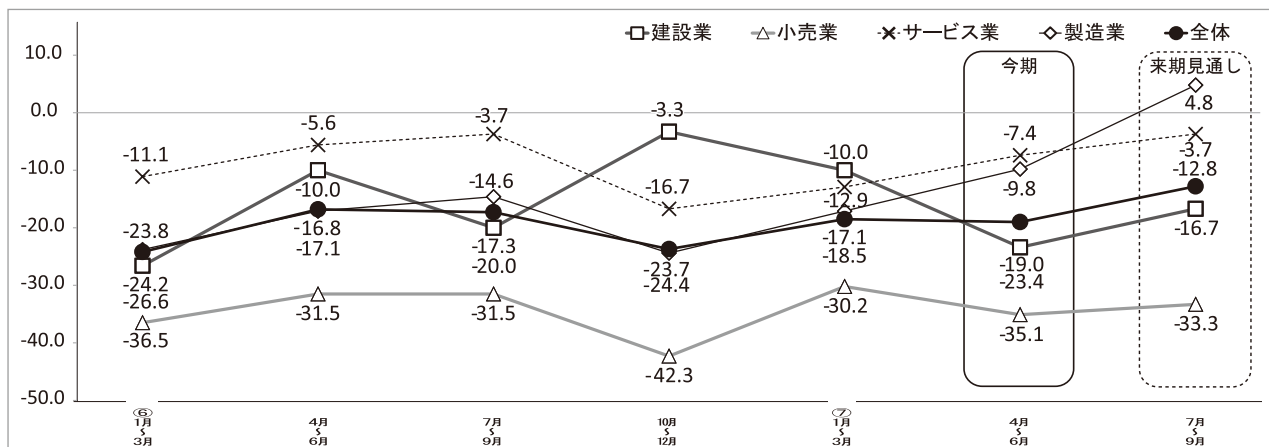
業況判断DI値は、好転、悪化が増加、不変が減少した。主要DIの前期比較は、売上額DIが増加、採算DIが好転、資金繰りDIが好転、従業員DIが増減なし。

**サービス業** 「業況判断DI」は、-7.4、対前期比5.5ポイントの好転（P.18）

経営上の問題点	
第1位	材料等仕入単価の上昇
第2位	利用者ニーズの変化
第3位	人件費以外の経費の増加、需要の停滞

業況判断DI値は、好転、不変が増加、悪化が減少した。主要DIの前期比較は、売上（収入）額DIが増加、採算DIが好転、資金繰りDIが好転、従業員DIが増加した。

<図 1－1> 業況判断 D I の推移



## ●調査対象企業からのコメント

### 製 造 業

- ・今期から来期にかけて大型物件の受注が入っており、この期間の状況は好転の見込みです。しかしながら、原材料・経費等が立て続けに値上がりし、業況は当面安定しないものと思われます。

(事務所用・店舗用装備品製造業)

- ・熟練技術者を確保（育成）する必要がある。（他に分類されないはん用機械・装置製造業）
- ・アメリカのトランプ関税等予測困難な状況があり、先行きに不透明感がある。（自動車部分品・附属品製造業）

### 建 設 業

- ・材料価格の上昇により、経営の安定が難しい状況である。また、材料費や人件費の上昇を価格に転嫁することで見積金額が高くなり、契約に至らないケースも増えている。（型枠大工工事業）
- ・求人に応募が少ない。若手がおらず会社全体の年齢が上がり将来の技術者確保に不安。（一般管工事業）
- ・材料価格の上昇と人件費の増加、技術者の確保難で利益の確保がなかなか思うようにはならず、今後の先行きが不安である。（給排水・衛生設備工事業）

### 小 売 業

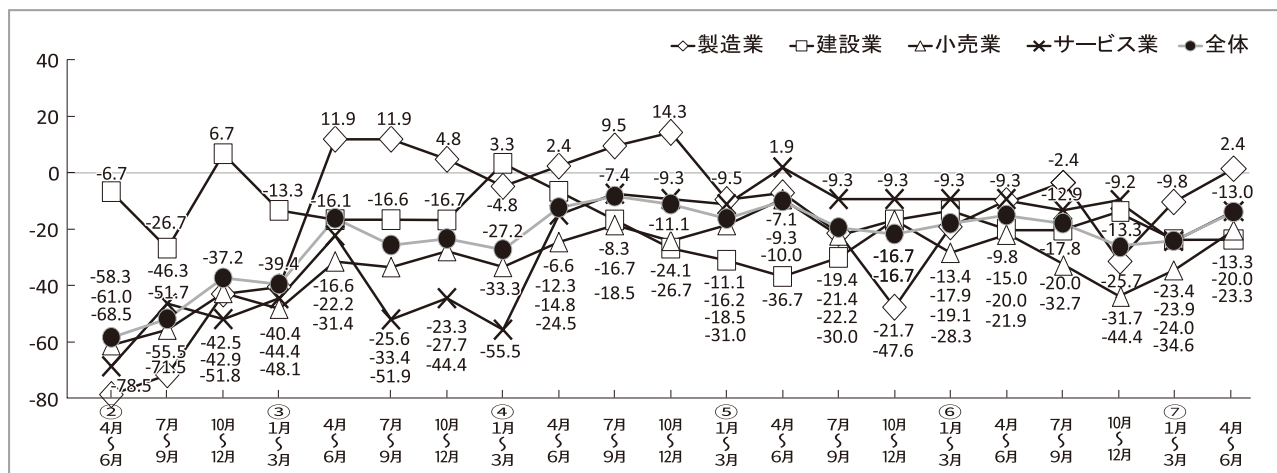
- ・5月の連休は客数が増え、売上が伸びたが、連休以外は買い控えが続いている。日用品等の価格上昇の影響を受け、自社が販売する商品（嗜好品）が売れなくなっている。（他に分類されない飲食料品小売業）
- ・冬場にチョコレートの仕入価格が倍になり、現状も高くなっている為、チョコレート商品を減らしている。6月にバターや牛乳など乳製品の仕入価格も上がると連絡があった。先行きが不安。（菓子小売業（製造小売））
- ・原価、エネルギー価格は高止まりしている状態で、価格転嫁のタイミングが難しい。（花・植木小売業）

### サービス業

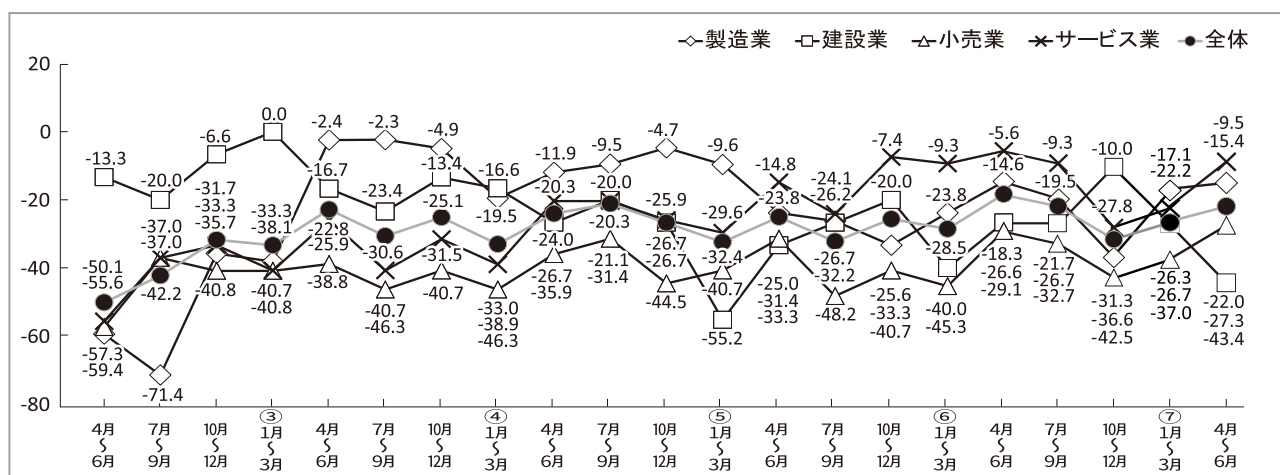
- ・3月に価格改定を行った。3～5月の繁忙期の売上は前年比以上となったが利用点数は1割減だった。高級服離れを感じる。物価高を感じており、顧客から選ばれるようサービス内容を充実させたい。（普通洗濯業）
- ・同業他社の増加、顧客の高齢化等問題はあるものの、新規事業等により事業は不変を維持。（美容業）
- ・ランチを値上げし売上は増えたが仕入れは上昇しており、収支はトントンで景況感は普通。（日本料理店）

### (3) 主要4項目及び業況判断D I の推移 —前年同期比—

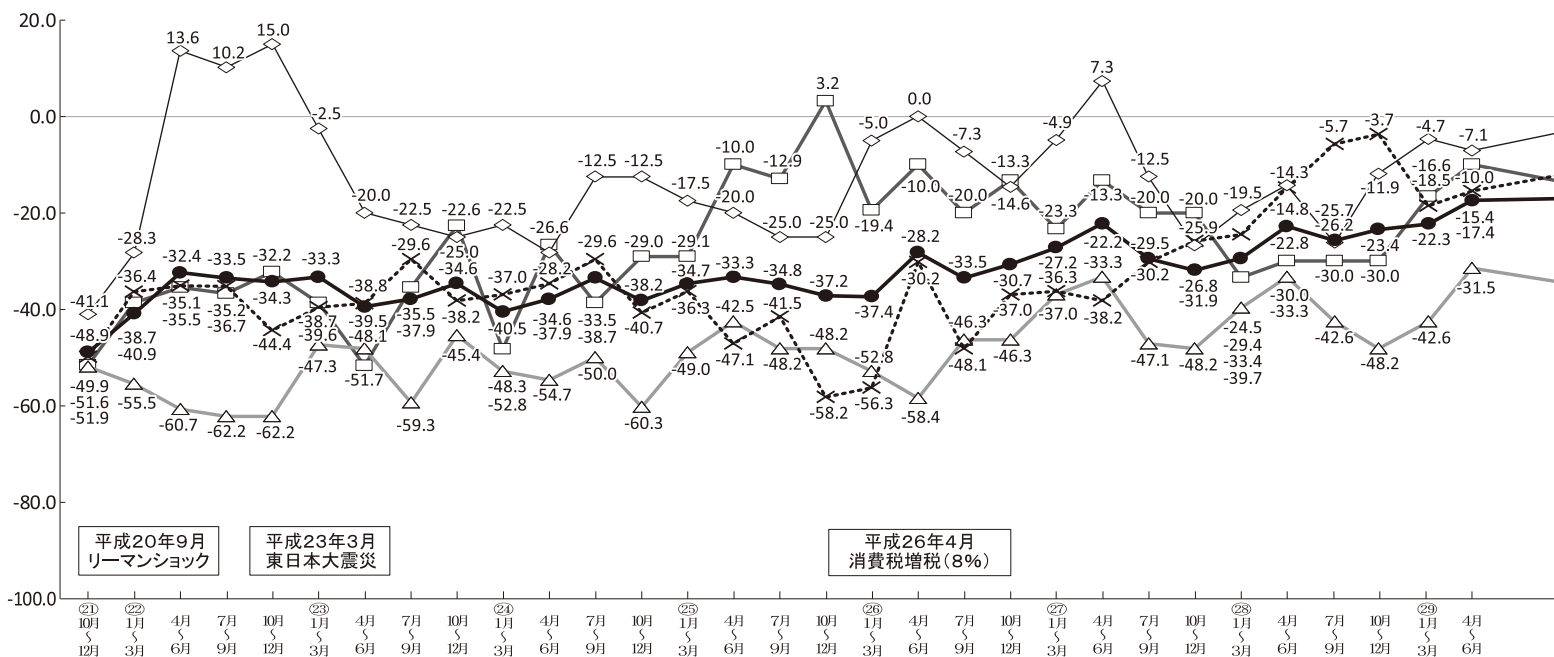
<図1-2> (岡山県) 売上(完成工事)額の推移



<図1-3> (岡山県) 採算の推移

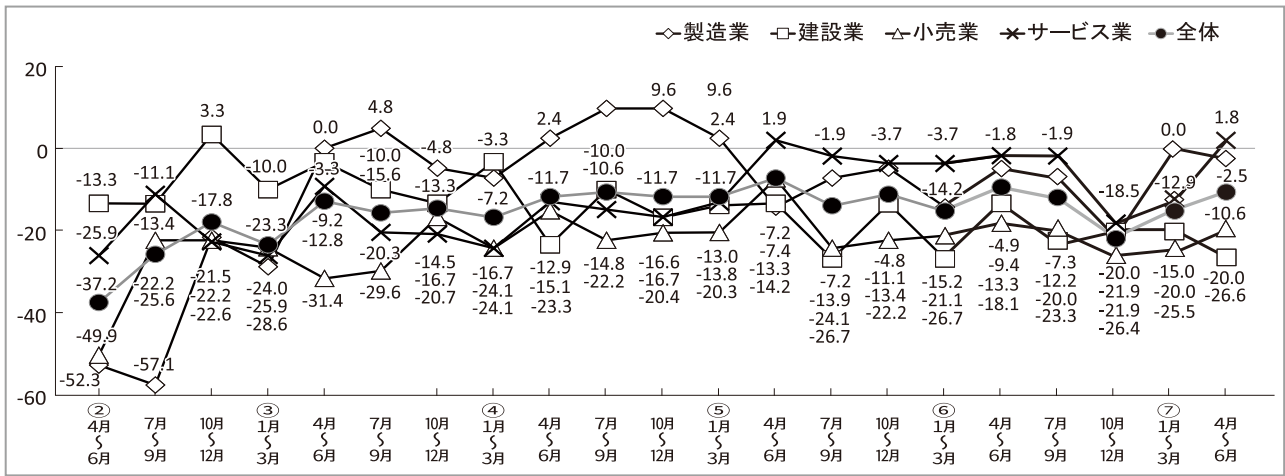


<図1-6> (岡山県)

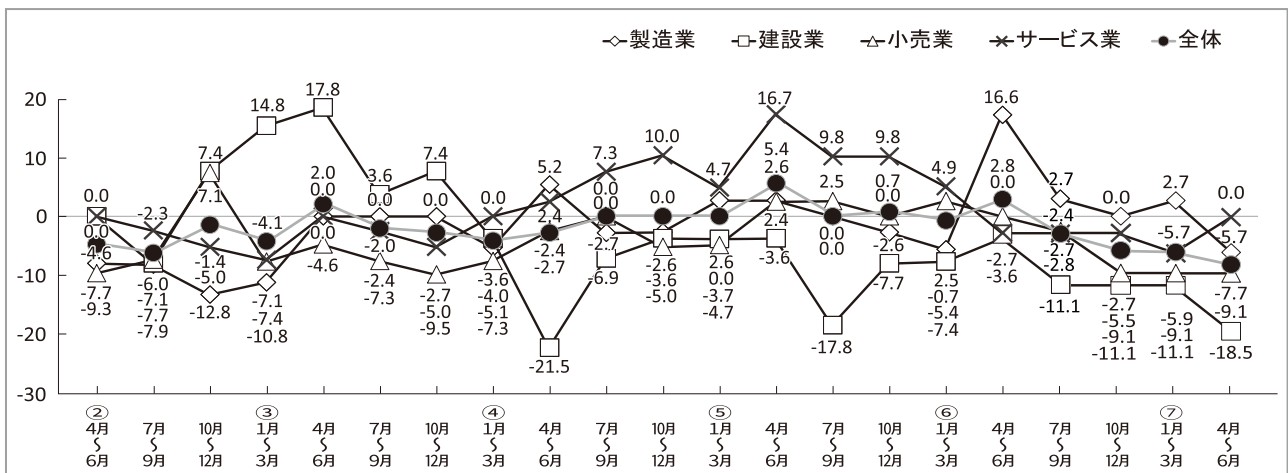




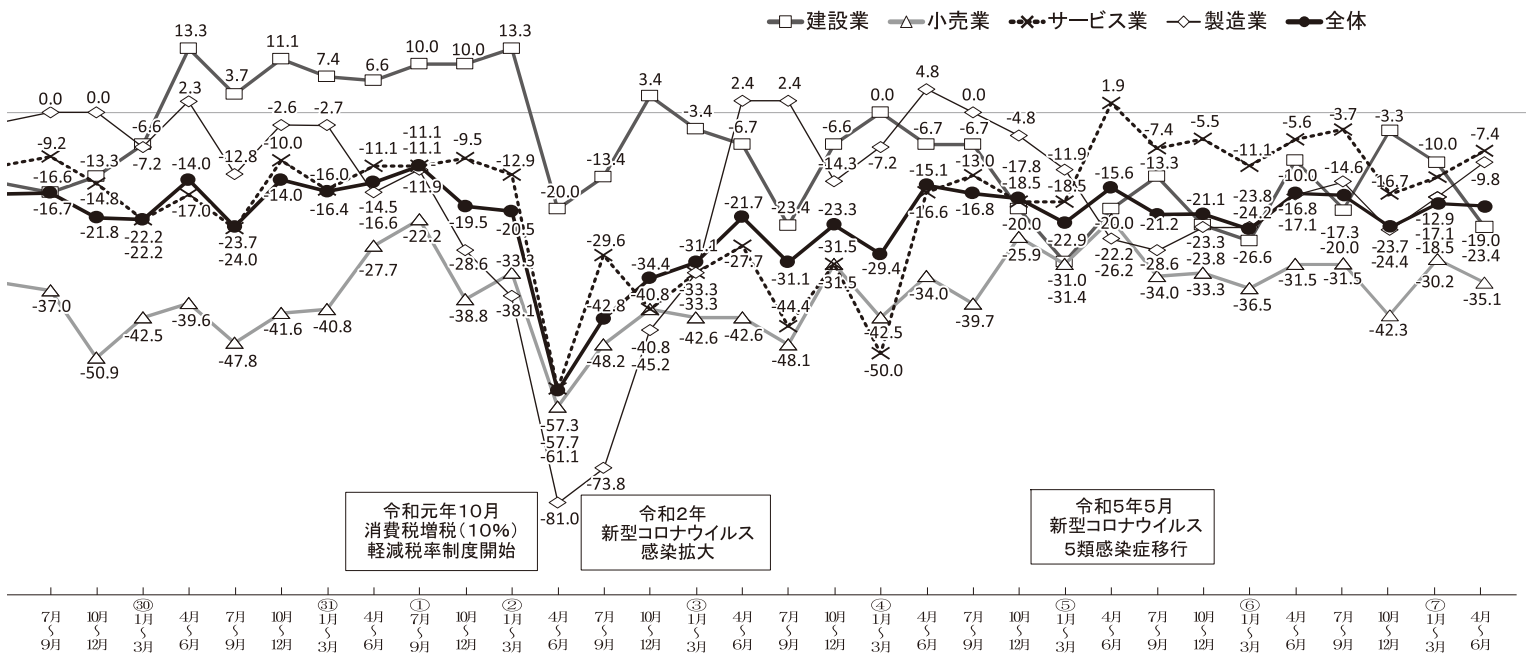
<図1-4> (岡山県) 資金繰りの推移



<図1-5> (岡山県) 従業員数の推移



商工会地区の業況判断D I



## 2 製造業の景況

### 1) 主要項目の動き

「売上（加工）額」D I（増加－減少）は、（前期－9.8）→2.4（前期差12.2ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比0.1ポイントの増加を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－17.1）→－15.4（前期差1.7ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比0.4ポイントの好転を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期0.0）→－2.5（前期差2.5ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比5.0ポイントの好転を予想している。

「原材料仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期43.2）→45.9（前期差2.7ポイント増）と上昇した。

「売上（加工）単価」D I（上昇－低下）は、（前期14.6）→24.4（前期差9.8ポイント増）と上昇した。

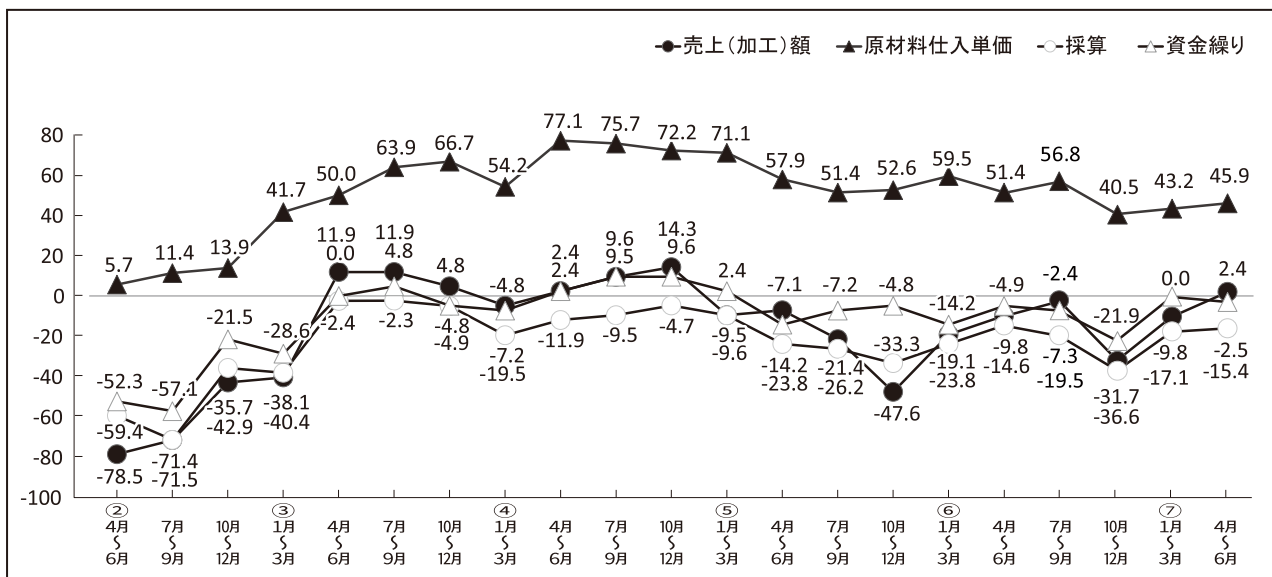
「売上（加工）数量」D I（増加－減少）は、（前期－12.2）→－9.7（前期差2.5ポイント増）と増加した。

### 2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」（26.5%）、第2位は「原材料価格の上昇」（17.6%）、第3位は「製品ニーズの変化」（14.7%）である。

### （1）主要項目の動き ―前年同期比―

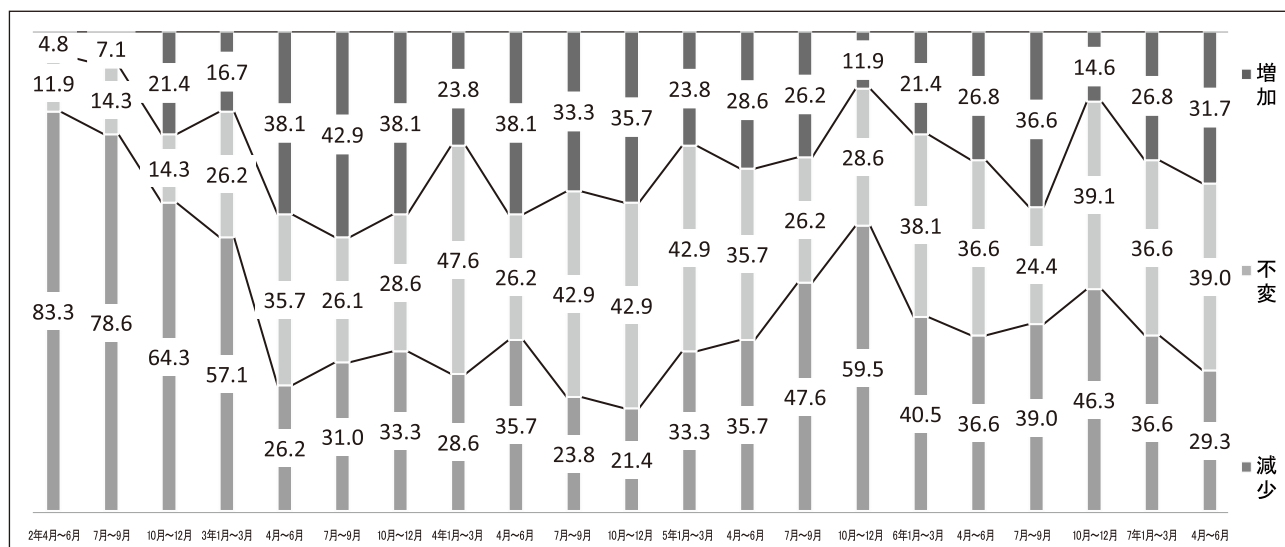
＜図2－1＞（岡山県）主要景況項目の推移



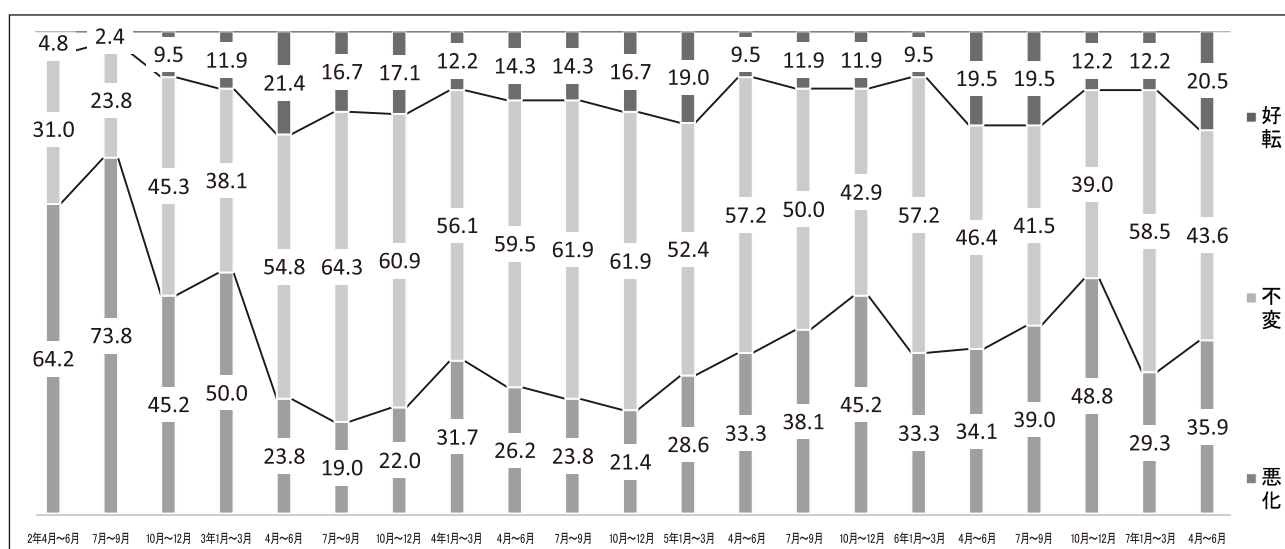


## (2) 主要3項目の状況

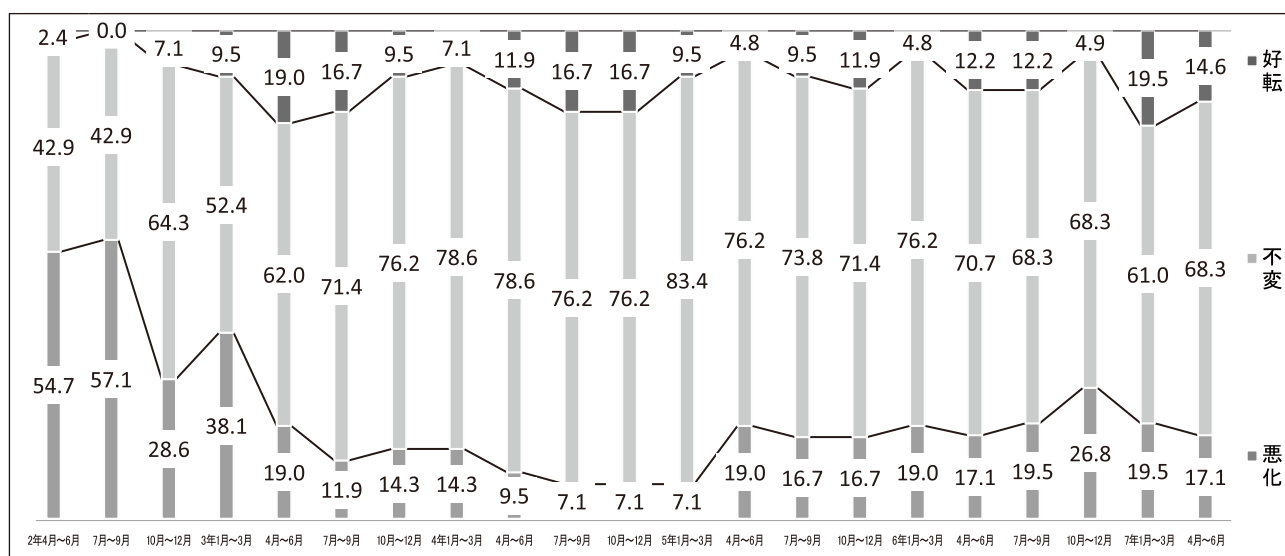
＜図2-2＞（岡山県）売上（加工）額の状況



＜図2-3＞（岡山県）採算の状況

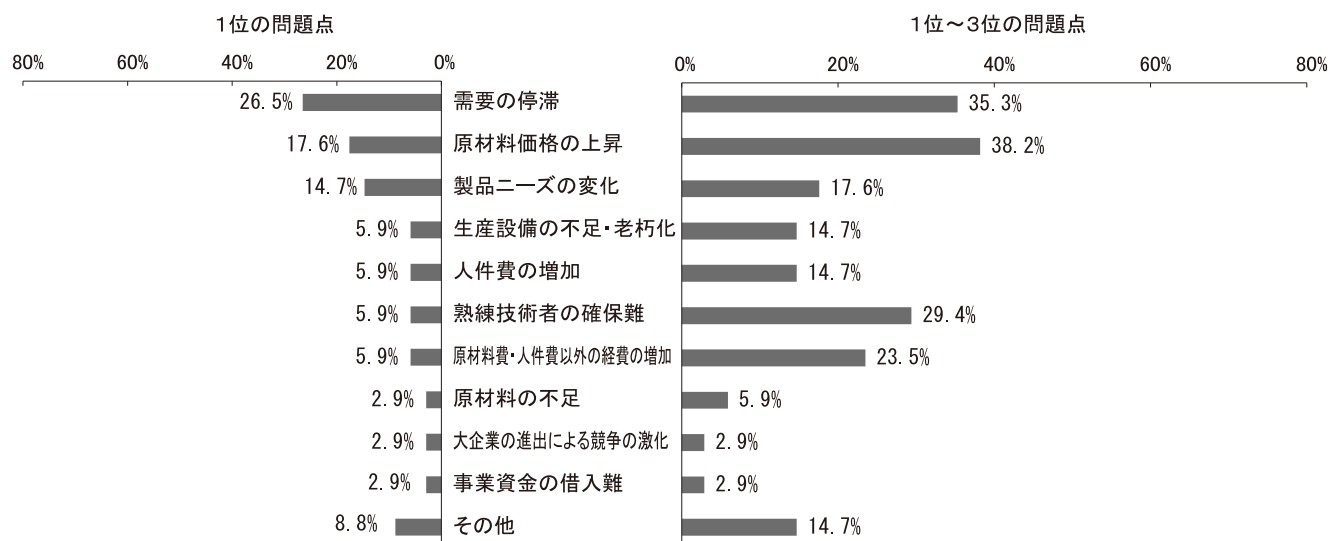


＜図2-4＞（岡山県）資金繰りの状況



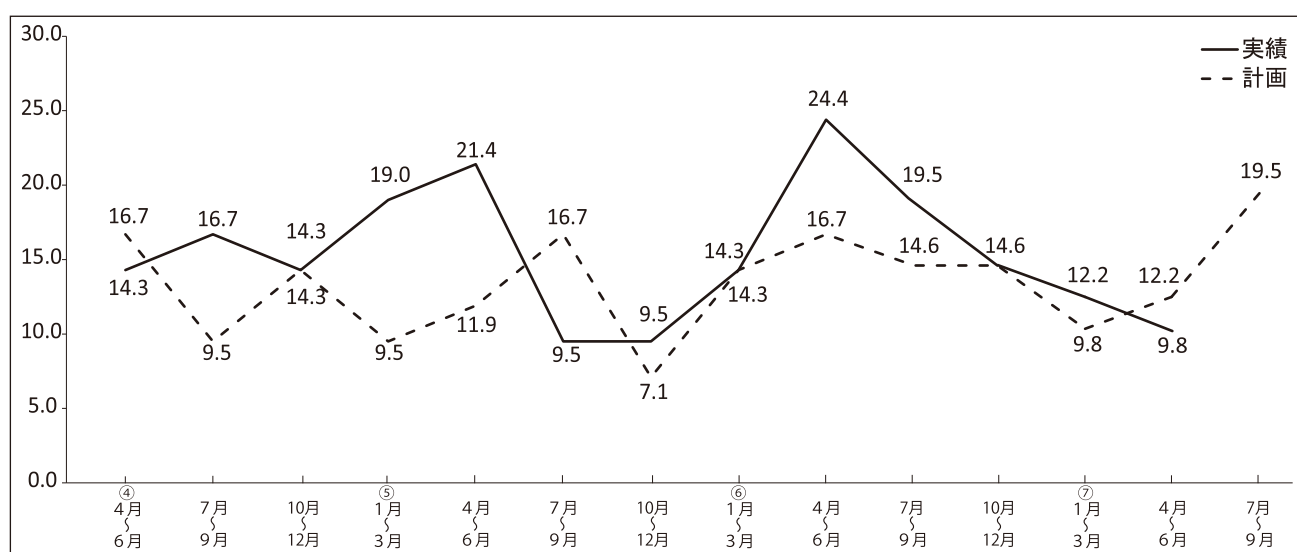
### (3) 経営上の問題点の状況

＜図2-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



### (4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図2-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表2-1＞（岡山県）新規設備投資

(%, 上段: 実施, 下段: 計画)

	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月
実施した計画している	14.3 16.7	16.7 9.5	14.3 14.3	19.0 9.5	21.4 11.9	9.5 16.7	9.5 7.1	14.3 14.3	24.4 16.7	19.5 14.6	14.6 14.6	12.2 9.8	9.8 12.2	19.5
土地	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 25.0	0.0 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	10.0 28.6	0.0 0.0	16.7 16.7	20.0 0.0	25.0 0.0	0.0
工場建物	0.0 28.6	14.3 0.0	0.0 0.0	12.5 25.0	44.4 0.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 16.7	20.0 14.3	12.5 16.7	16.7 25.0	20.0 25.0	25.0 40.0	50.0
生産設備	33.3 57.1	28.6 75.0	16.7 33.3	62.5 25.0	11.1 20.0	50.0 42.9	75.0 100.0	83.3 50.0	60.0 57.1	50.0 50.0	50.0 33.3	20.0 0.0	50.0 60.0	50.0
車両・運搬具	33.3 28.6	28.6 0.0	33.3 33.3	25.0 0.0	11.1 40.0	25.0 14.3	0.0 0.0	16.7 33.3	0.0 14.3	37.5 33.3	33.3 0.0	20.0 75.0	25.0 0.0	25.0
付帯施設	16.7 0.0	14.3 0.0	16.7 0.0	12.5 50.0	11.1 20.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	12.5
OA機器	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	12.5 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	0.0 0.0	10.0 28.6	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
福利厚生施設	0.0 14.3	14.3 25.0	33.3 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	0.0 0.0	12.5 16.7	16.7 16.7	0.0 25.0	25.0 20.0	12.5
その他	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 0.0	0.0 0.0	22.2 0.0	25.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0 0.0	0.0 0.0	0.0 16.7	20.0 25.0	0.0 0.0	0.0
実施していない計画していない	85.7 83.3	83.3 90.5	85.7 85.7	81.0 90.5	78.6 88.1	90.5 83.3	90.5 92.9	85.7 85.7	75.6 83.3	80.5 85.4	85.4 85.4	87.8 90.2	90.2 87.8	80.5

## (5) 主要景況項目の概況

＜表２－２＞（岡山県）製造業（令和７年４月～６月）

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a)－(c)
売上（加工）額	今期	31.7	39.0	29.3	2.4
	前期	26.8	36.6	36.6	-9.8
	今期－前期	4.9	2.4	-7.3	12.2
	来期	29.3	43.9	26.8	2.5
	来期－今期	-2.4	4.9	-2.5	0.1
輸出額	今期	0.0	90.9	9.1	-9.1
	前期	0.0	90.9	9.1	-9.1
	今期－前期	0.0	0.0	0.0	0.0
売上（加工）単価	今期	29.3	65.8	4.9	24.4
	前期	24.4	65.8	9.8	14.6
	今期－前期	4.9	0.0	-4.9	9.8
売上（加工）数量	今期	24.4	41.5	34.1	-9.7
	前期	24.4	39.0	36.6	-12.2
	今期－前期	0.0	2.5	-2.5	2.5
原材料仕入単価	今期	48.6	48.7	2.7	45.9
	前期	43.2	56.8	0.0	43.2
	今期－前期	5.4	-8.1	2.7	2.7
原材料在庫数量	今期	2.9	94.2	2.9	0.0
	前期	5.6	91.6	2.8	2.8
	今期－前期	-2.7	2.6	0.1	-2.8
製品在庫数量	今期	0.0	91.7	8.3	-8.3
	前期	2.7	94.6	2.7	0.0
	今期－前期	-2.7	-2.9	5.6	-8.3
採算（経常利益）	今期	20.5	43.6	35.9	-15.4
	前期	12.2	58.5	29.3	-17.1
	今期－前期	8.3	-14.9	6.6	1.7
	来期	17.5	50.0	32.5	-15.0
	来期－今期	-3.0	6.4	-3.4	0.4
引合い	今期	20.5	51.3	28.2	-7.7
	前期	12.5	65.0	22.5	-10.0
	今期－前期	8.0	-13.7	5.7	2.3
受注残	今期	7.3	63.4	29.3	-22.0
	前期	12.5	67.5	20.0	-7.5
	今期－前期	-5.2	-4.1	9.3	-14.5
従業員 （含臨時・パート）	今期	5.7	82.9	11.4	-5.7
	前期	8.3	86.1	5.6	2.7
	今期－前期	-2.6	-3.2	5.8	-8.4
外部人材 （請負・派遣）	今期	0.0	89.5	10.5	-10.5
	前期	4.5	95.5	0.0	4.5
	今期－前期	-4.5	-6.0	10.5	-15.0
設備操業率	今期	12.2	53.7	34.1	-21.9
	前期	9.8	65.8	24.4	-14.6
	今期－前期	2.4	-12.1	9.7	-7.3
業況（自社）	今期	19.5	51.2	29.3	-9.8
	前期	14.6	53.7	31.7	-17.1
	今期－前期	4.9	-2.5	-2.4	7.3
	来期	26.8	51.2	22.0	4.8
	来期－今期	7.3	0.0	-7.3	14.6
資金繰り	今期	14.6	68.3	17.1	-2.5
	前期	19.5	61.0	19.5	0.0
	今期－前期	-4.9	7.3	-2.4	-2.5
	来期	17.1	68.3	14.6	2.5
	来期－今期	2.5	0.0	-2.5	5.0

### 3 建設業の景況

#### 1) 主要項目の動き

「完成工事額（請負工事）」D I（増加－減少）は、（前期－23.4）→－23.3（前期差0.1ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比0.0ポイントの増減なしを予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－26.7）→－43.4（前期差16.7ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比6.8ポイントの好転を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－20.0）→－26.6（前期差6.6ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比9.9ポイントの好転を予想している。

「材料仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期63.4）→66.7（前期差3.3ポイント増）と上昇した。

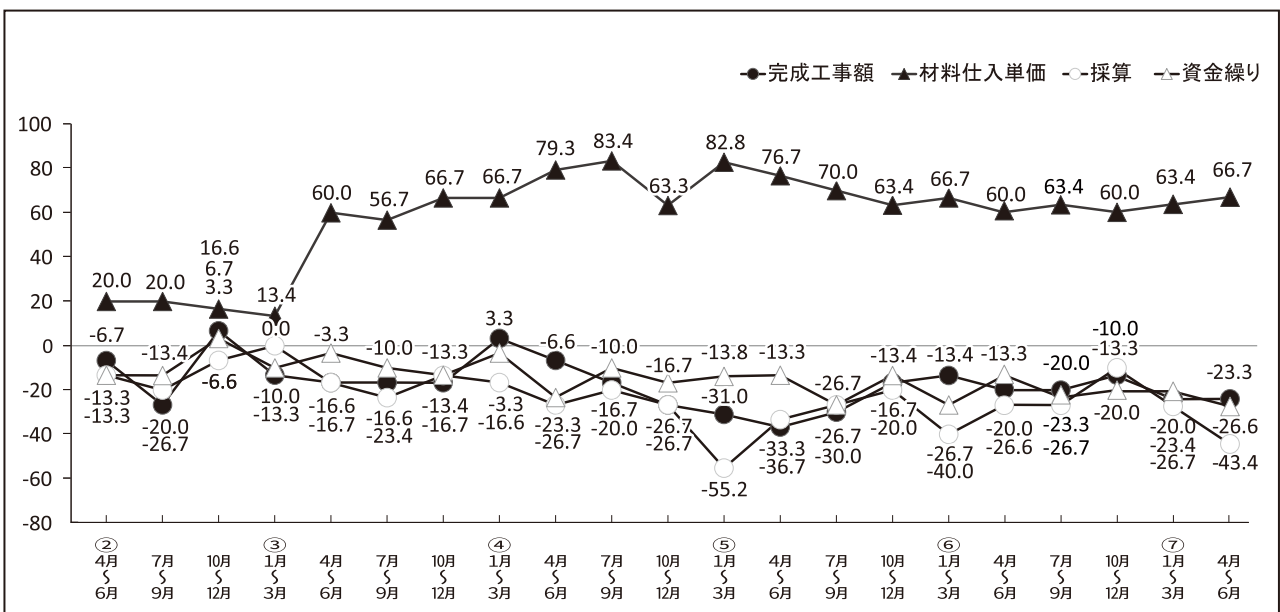
受注額（新規契約工事）D I（増加－減少）は、（前期－16.7）→－26.7（前期差10.0ポイント減）と減少した。

#### 2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「材料価格の上昇」（28.0%）、第2位は「民間需要の停滞」（20.0%）、第3位は「熟練技術者の確保難」（12.0%）である。

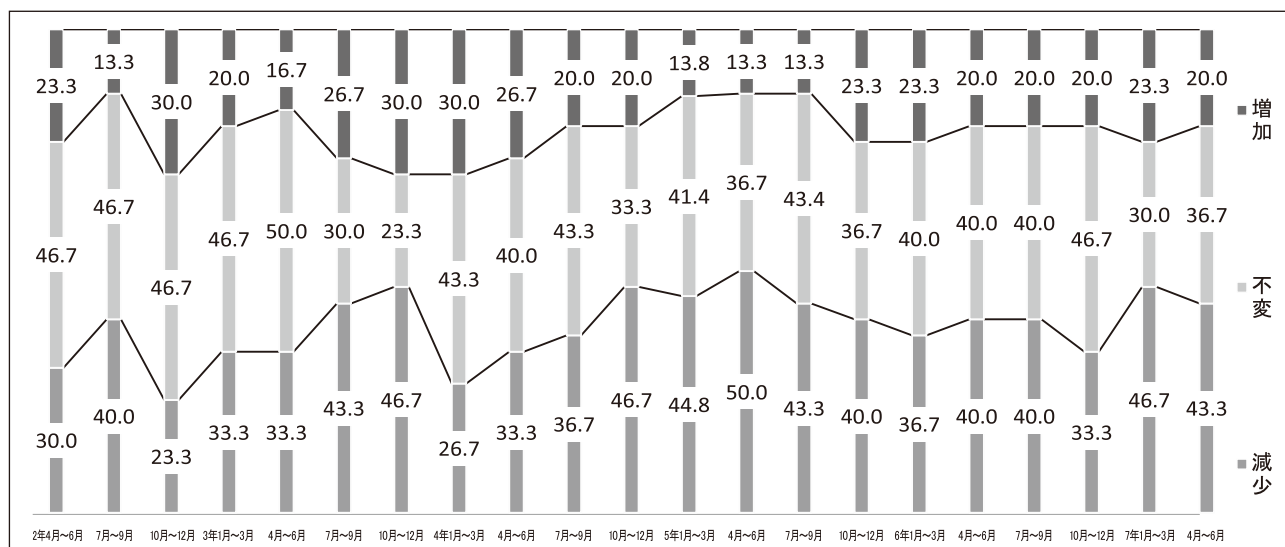
#### （1）主要項目の動き ―前年同期比―

＜図3－1＞（岡山県）主要景況項目の推移

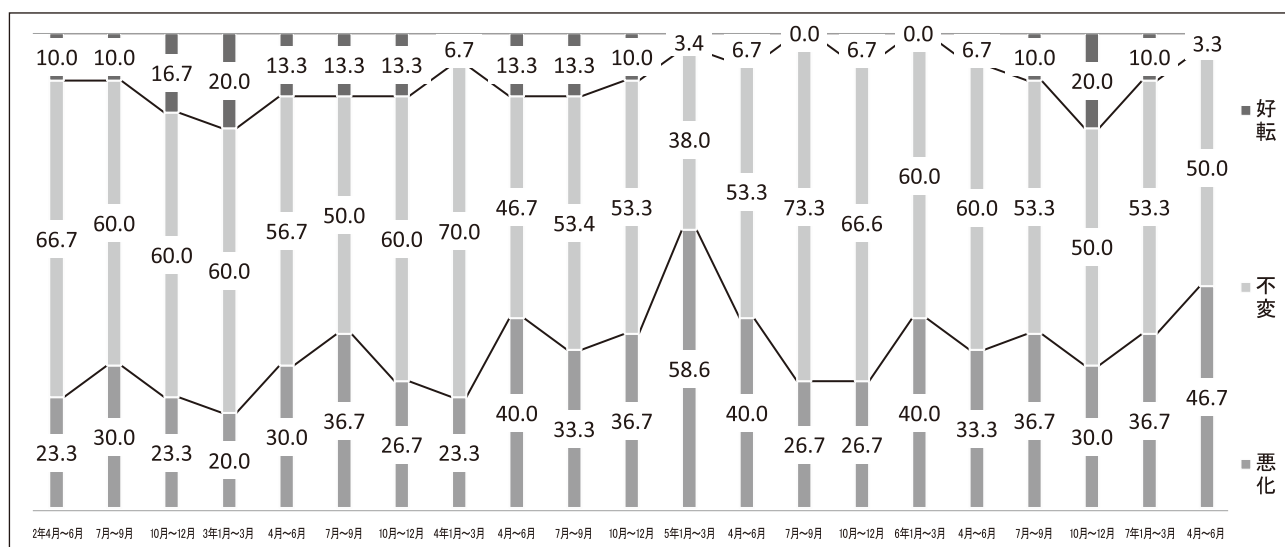


## (2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

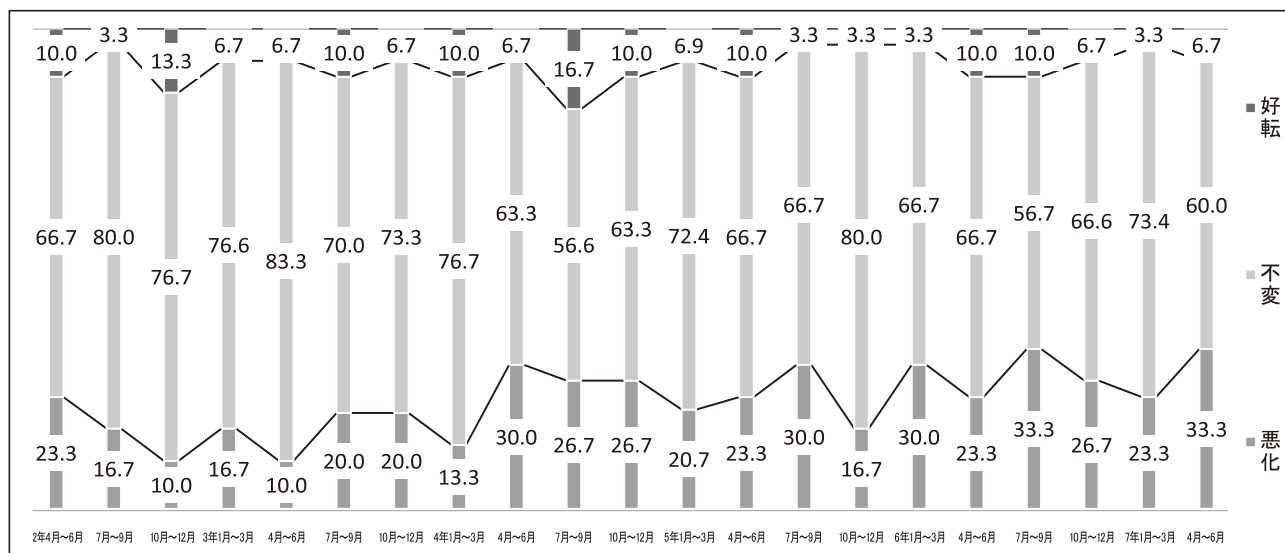
＜図3－2＞（岡山県）完成工事額（請負工事）の状況



＜図3－3＞（岡山県）採算の状況

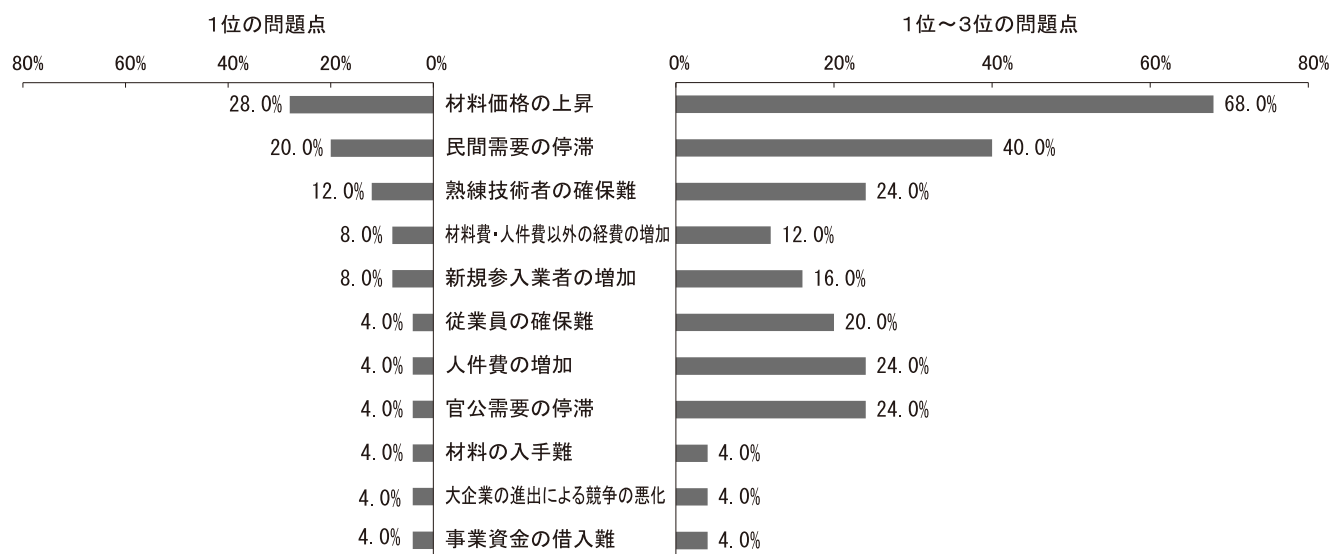


＜図3－4＞（岡山県）資金繰りの状況



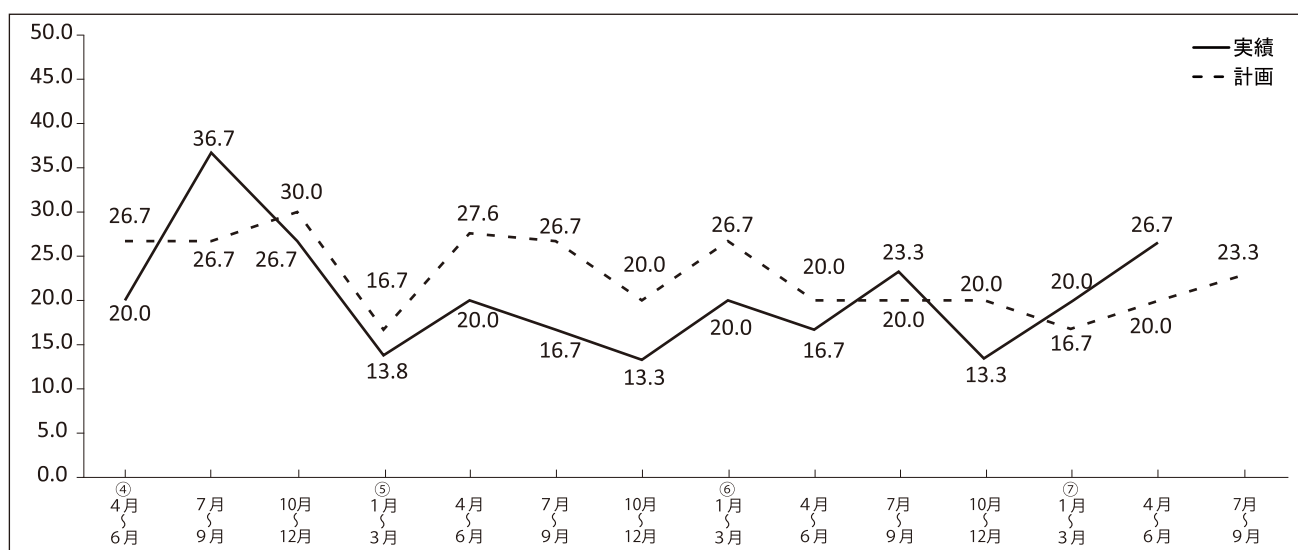
### （３）経営上の問題点の状況

＜図３－５＞（岡山県）経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）



### （４）設備投資の状況及び投資内訳

＜図３－６＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表３－１＞（岡山県）新規設備投資

	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月
実施した 計画している	20.0 26.7	36.7 26.7	26.7 30.0	13.8 16.7	20.0 27.6	16.7 26.7	13.3 20.0	20.0 26.7	16.7 20.0	23.3 20.0	13.3 20.0	20.0 16.7	26.7 20.0	23.3
土地	16.7 37.5	18.2 25.0	25.0 22.2	25.0 20.0	16.7 25.0	60.0 25.0	50.0 16.7	16.7 12.5	40.0 33.3	14.3 33.3	25.0 0.0	16.7 20.0	12.5 16.7	14.3
建物	33.3 37.5	18.2 25.0	25.0 33.3	25.0 40.0	16.7 37.5	20.0 25.0	25.0 0.0	33.3 25.0	40.0 50.0	14.3 16.7	50.0 16.7	16.7 40.0	25.0 16.7	42.9
建設機械	33.3 25.0	36.4 37.5	62.5 33.3	25.0 60.0	16.7 25.0	0.0 37.5	50.0 50.0	0.0 37.5	40.0 33.3	28.6 16.7	50.0 33.3	50.0 40.0	37.5 33.3	28.6
車両・運 搬具	33.3 12.5	9.1 37.5	25.0 44.4	25.0 40.0	83.3 50.0	40.0 37.5	25.0 16.7	33.3 25.0	0.0 33.3	57.1 33.3	25.0 33.3	33.3 40.0	37.5 50.0	57.1
付帯施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 20.0	0.0 0.0	0.0
OA機器	50.0 25.0	54.5 50.0	12.5 11.1	0.0 20.0	0.0 12.5	0.0 12.5	25.0 16.7	33.3 12.5	40.0 33.3	28.6 33.3	50.0 33.3	16.7 40.0	50.0 50.0	0.0
福利厚生 施設	0.0 12.5	0.0 12.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 12.5	25.0 16.7	16.7 12.5	20.0 0.0	14.3 0.0	25.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	14.3
その他	0.0 37.5	18.2 12.5	0.0 11.1	75.0 0.0	16.7 12.5	20.0 25.0	0.0 16.7	0.0 25.0	0.0 33.3	28.6 33.3	0.0 33.3	33.3 20.0	12.5 16.7	14.3
実施していない 計画していない	80.0 73.3	63.3 73.3	73.3 70.0	86.2 83.3	80.0 72.4	83.3 73.3	86.7 80.0	80.0 73.3	83.3 80.0	76.7 80.0	86.7 80.0	80.0 83.3	73.3 80.0	76.7



## (5) 主要景況項目の概況

＜表３－２＞（岡山県）建設業（令和７年４月～６月）

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・減少・悪化	(a)－(c)
受注額 (新規契約工事)	今期	20.0	33.3	46.7	-26.7
	前期	20.0	43.3	36.7	-16.7
	今期－前期	0.0	-10.0	10.0	-10.0
完成工事額 (請負工事)	今期	20.0	36.7	43.3	-23.3
	前期	23.3	30.0	46.7	-23.4
	今期－前期	-3.3	6.7	-3.4	0.1
	来期	16.7	43.3	40.0	-23.3
	来期－今期	-3.3	6.6	-3.3	0.0
材料仕入単価	今期	66.7	33.3	0.0	66.7
	前期	66.7	30.0	3.3	63.4
	今期－前期	0.0	3.3	-3.3	3.3
採算（経常利益）	今期	3.3	50.0	46.7	-43.4
	前期	10.0	53.3	36.7	-26.7
	今期－前期	-6.7	-3.3	10.0	-16.7
	来期	6.7	50.0	43.3	-36.6
	来期－今期	3.4	0.0	-3.4	6.8
引合い	今期	13.3	63.4	23.3	-10.0
	前期	13.8	69.0	17.2	-3.4
	今期－前期	-0.5	-5.6	6.1	-6.6
契約残 (未消化工事高)	今期	13.3	50.0	36.7	-23.4
	前期	13.3	60.0	26.7	-13.4
	今期－前期	0.0	-10.0	10.0	-10.0
従業員 (含臨時・パート)	今期	0.0	81.5	18.5	-18.5
	前期	3.7	81.5	14.8	-11.1
	今期－前期	-3.7	0.0	3.7	-7.4
外部人材 (請負・派遣)	今期	18.5	66.7	14.8	3.7
	前期	7.4	77.8	14.8	-7.4
	今期－前期	11.1	-11.1	0.0	11.1
業況（自社）	今期	13.3	50.0	36.7	-23.4
	前期	16.7	56.6	26.7	-10.0
	今期－前期	-3.4	-6.6	10.0	-13.4
	来期	13.3	56.7	30.0	-16.7
	来期－今期	0.0	6.7	-6.7	6.7
資金繰り	今期	6.7	60.0	33.3	-26.6
	前期	3.3	73.4	23.3	-20.0
	今期－前期	3.4	-13.4	10.0	-6.6
	来期	3.3	76.7	20.0	-16.7
	来期－今期	-3.4	16.7	-13.3	9.9

## 4 小売業の景況

### 1) 主要項目の動き

「売上額」D I（増加－減少）は、（前期－34.6）→－20.0（前期差14.6ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比▲10.9ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－37.0）→－27.3（前期差9.7ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲1.8ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－25.5）→－20.0（前期差5.5ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比0.0ポイントの増減なしを予想している。

「商品仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期60.0）→69.0（前期差9.0ポイント増）と上昇した。

「客単価」D I（上昇－低下）は、（前期－5.4）→－5.5（前期差0.1ポイント減）と低下した。

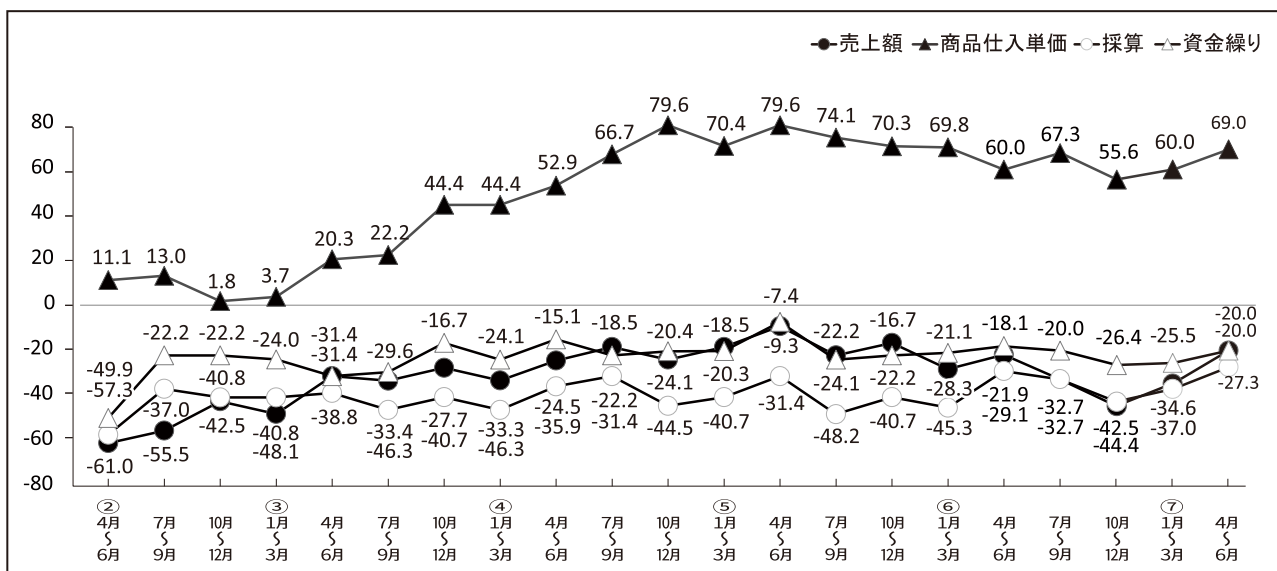
「客数」D I（増加－減少）は、（前期－49.0）→－36.4（前期差12.6ポイント増）と増加した。

### 2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「仕入単価の上昇」、「消費者ニーズの変化への対応」（20.8%）、第3位は「購買力の他地域への流出」、「需要の停滞」（14.6%）、第5位は「店舗の狭隘・老朽化」（8.3%）である。

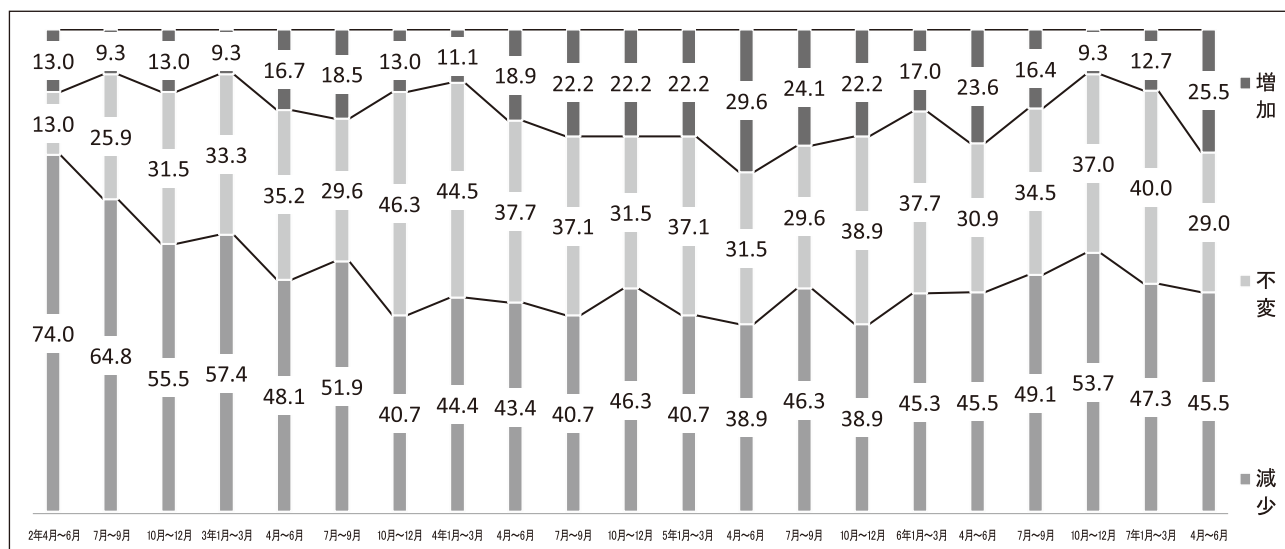
### （1）主要項目の動き ―前年同期比―

＜図4－1＞（岡山県）主要景況項目の推移

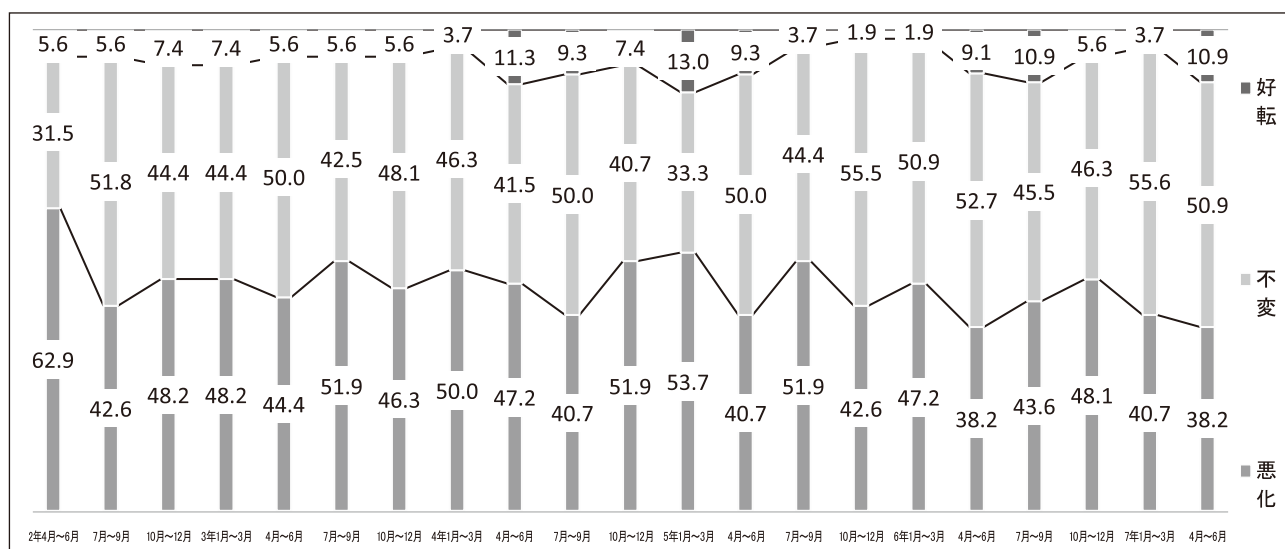


## (2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

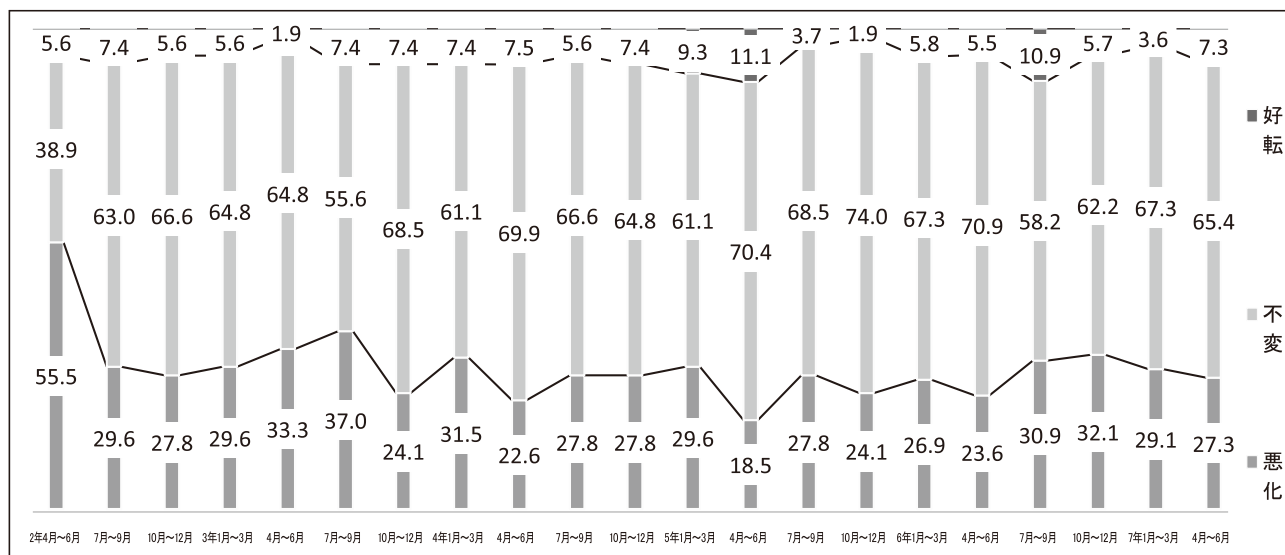
＜図4-2＞（岡山県）売上額の状況



＜図4-3＞（岡山県）採算の状況

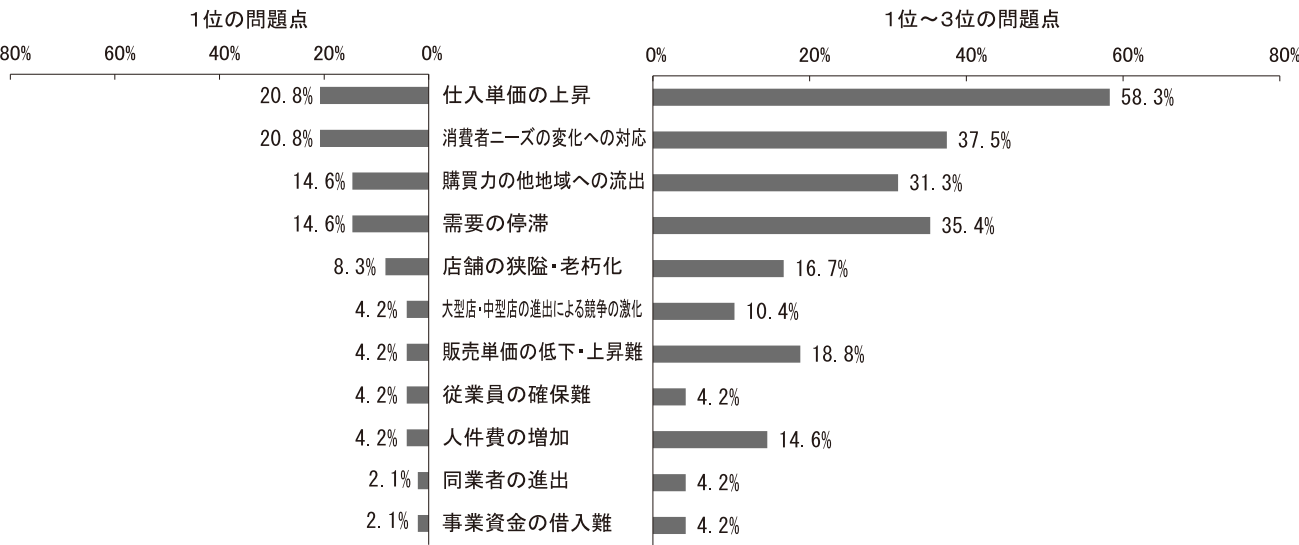


＜図4-4＞（岡山県）資金繰りの状況



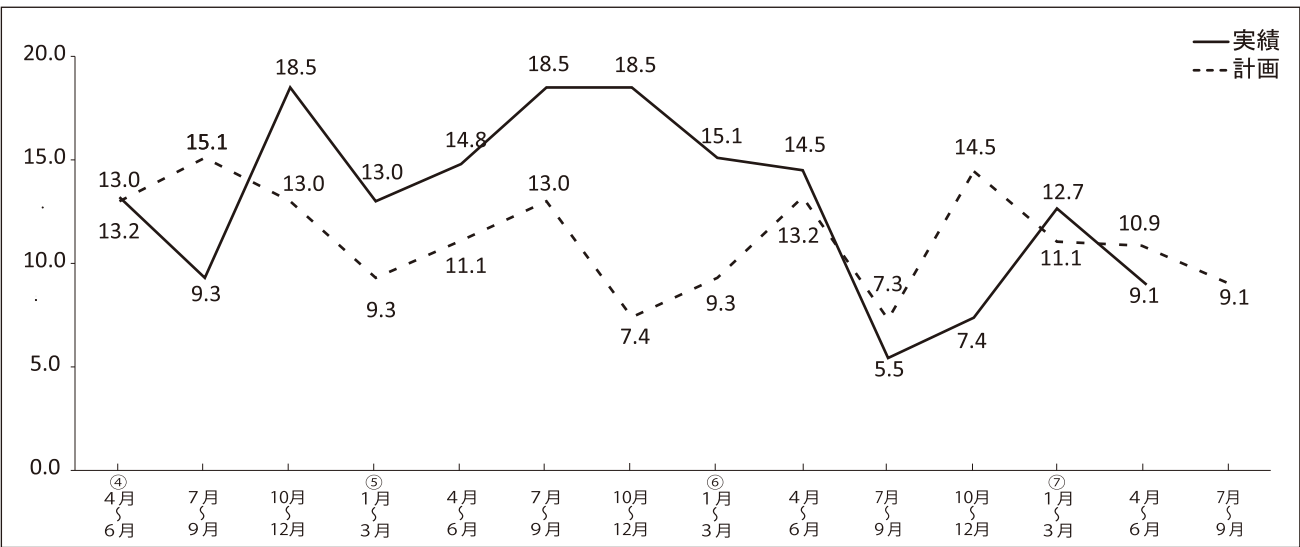
(3) 経営上の問題点の状況

＜図 4－5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図 4－6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表 4－1＞（岡山県）新規設備投資

	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月
実施した 計画している	13.2 13.0	9.3 15.1	18.5 13.0	13.0 9.3	14.8 11.1	18.5 13.0	18.5 7.4	15.1 9.3	14.5 13.2	5.5 7.3	7.4 14.5	12.7 11.1	9.1 10.9	9.1
土地	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	12.5 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 14.3	0.0 25.0	0.0 12.5	14.3 0.0	20.0 0.0	0.0
店舗	28.6 14.3	0.0 12.5	10.0 14.3	28.6 20.0	12.5 16.7	20.0 14.3	0.0 25.0	25.0 20.0	37.5 28.6	0.0 50.0	0.0 12.5	14.3 33.3	20.0 0.0	0.0
販売設備	42.9 71.4	0.0 50.0	20.0 42.9	42.9 20.0	62.5 16.7	40.0 28.6	40.0 50.0	50.0 20.0	50.0 28.6	66.7 50.0	75.0 37.5	0.0 50.0	20.0 33.3	0.0
車両・運 搬具	14.3 28.6	60.0 0.0	40.0 14.3	28.6 0.0	37.5 16.7	20.0 28.6	30.0 25.0	0.0 40.0	25.0 14.3	33.3 25.0	0.0 12.5	14.3 16.7	40.0 50.0	0.0
付帯施設	14.3 0.0	0.0 12.5	10.0 0.0	14.3 40.0	12.5 0.0	20.0 0.0	30.0 0.0	12.5 20.0	25.0 0.0	0.0 50.0	0.0 0.0	28.6 0.0	0.0 0.0	40.0
OA機器	14.3 14.3	40.0 37.5	10.0 14.3	42.9 0.0	12.5 0.0	20.0 0.0	20.0 0.0	0.0 20.0	25.0 14.3	0.0 25.0	25.0 25.0	28.6 16.7	0.0 0.0	40.0
福利厚生 施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
その他	14.3 14.3	0.0 0.0	20.0 14.3	0.0 20.0	0.0 33.3	0.0 28.6	20.0 25.0	25.0 0.0	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 12.5	0.0 0.0	0.0 0.0	20.0
実施していない 計画していない	86.8 87.0	90.7 84.9	81.5 87.0	87.0 90.7	85.2 88.9	81.5 87.0	81.5 92.6	84.9 90.7	85.5 86.8	94.5 92.7	92.6 85.5	87.3 88.9	90.9 89.1	90.9

## (5) 主要景況項目の概況

＜表４－２＞（岡山県）小売業（令和７年４月～６月）

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a)－(c)
売上額	今期	25.5	29.0	45.5	-20.0
	前期	12.7	40.0	47.3	-34.6
	今期－前期	12.8	-11.0	-1.8	14.6
	来期	18.2	32.7	49.1	-30.9
	来期－今期	-7.3	3.7	3.6	-10.9
客単価	今期	23.6	47.3	29.1	-5.5
	前期	18.2	58.2	23.6	-5.4
	今期－前期	5.4	-10.9	5.5	-0.1
客数	今期	14.5	34.6	50.9	-36.4
	前期	5.5	40.0	54.5	-49.0
	今期－前期	9.0	-5.4	-3.6	12.6
商品仕入単価	今期	74.5	20.0	5.5	69.0
	前期	65.5	29.0	5.5	60.0
	今期－前期	9.0	-9.0	0.0	9.0
商品仕入額	今期	52.7	21.8	25.5	27.2
	前期	45.5	40.0	14.5	31.0
	今期－前期	7.2	-18.2	11.0	-3.8
商品在庫数量	今期	7.5	60.4	32.1	-24.6
	前期	3.8	67.9	28.3	-24.5
	今期－前期	3.7	-7.5	3.8	-0.1
採算（経常利益）	今期	10.9	50.9	38.2	-27.3
	前期	3.7	55.6	40.7	-37.0
	今期－前期	7.2	-4.7	-2.5	9.7
	来期	10.9	49.1	40.0	-29.1
	来期－今期	0.0	-1.8	1.8	-1.8
従業員 （含臨時・パート）	今期	0.0	90.9	9.1	-9.1
	前期	2.3	86.3	11.4	-9.1
	今期－前期	-2.3	4.6	-2.3	0.0
外部人材 （請負・派遣）	今期	0.0	90.0	10.0	-10.0
	前期	4.3	91.4	4.3	0.0
	今期－前期	-4.3	-1.4	5.7	-10.0
業況（自社）	今期	9.3	46.3	44.4	-35.1
	前期	3.8	62.2	34.0	-30.2
	今期－前期	5.5	-15.9	10.4	-4.9
	来期	9.3	48.1	42.6	-33.3
	来期－今期	0.0	1.8	-1.8	1.8
資金繰り	今期	7.3	65.4	27.3	-20.0
	前期	3.6	67.3	29.1	-25.5
	今期－前期	3.7	-1.9	-1.8	5.5
	来期	5.5	69.0	25.5	-20.0
	来期－今期	-1.8	3.6	-1.8	0.0

## 5 サービス業の景況

### 1) 主要項目の動き

「売上（収入）額」D I（増加－減少）は、（前期－24.0）→－13.0（前期差11.0ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比5.6ポイントの増加を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－22.2）→－9.5（前期差12.7ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲1.8ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－12.9）→1.8（前期差14.7ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲5.5ポイントの悪化を予想している。

「仕入単価（材料等）」D I（上昇－低下）は、（前期51.9）→56.6（前期差4.7ポイント増）と上昇した。

「客単価」D I（上昇－低下）は、（前期－11.1）→12.9（前期差24.0ポイント増）と上昇した。

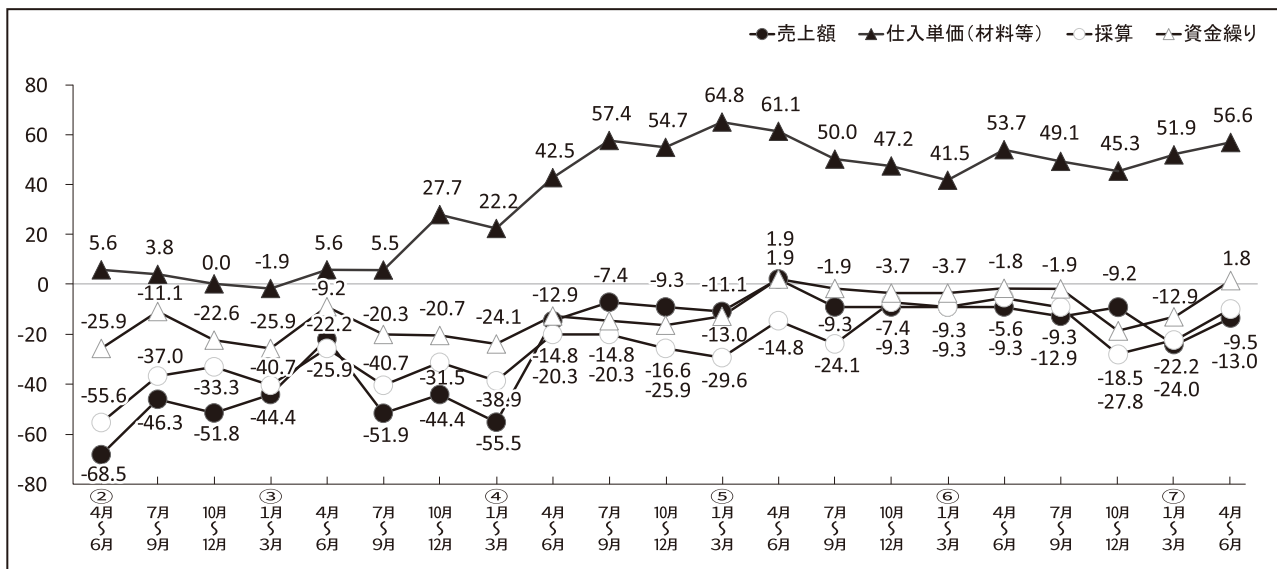
「利用客数」D I（増加－減少）は、（前期－20.4）→－16.7（前期差3.7ポイント増）と増加した。

### 2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「材料等仕入単価の上昇」（24.3%）、第2位は「利用者ニーズの変化」（18.9%）、第3位は「人件費以外の経費の増加」、「需要の停滞」（10.8%）である。

### （1）主要項目の動き ―前年同期比―

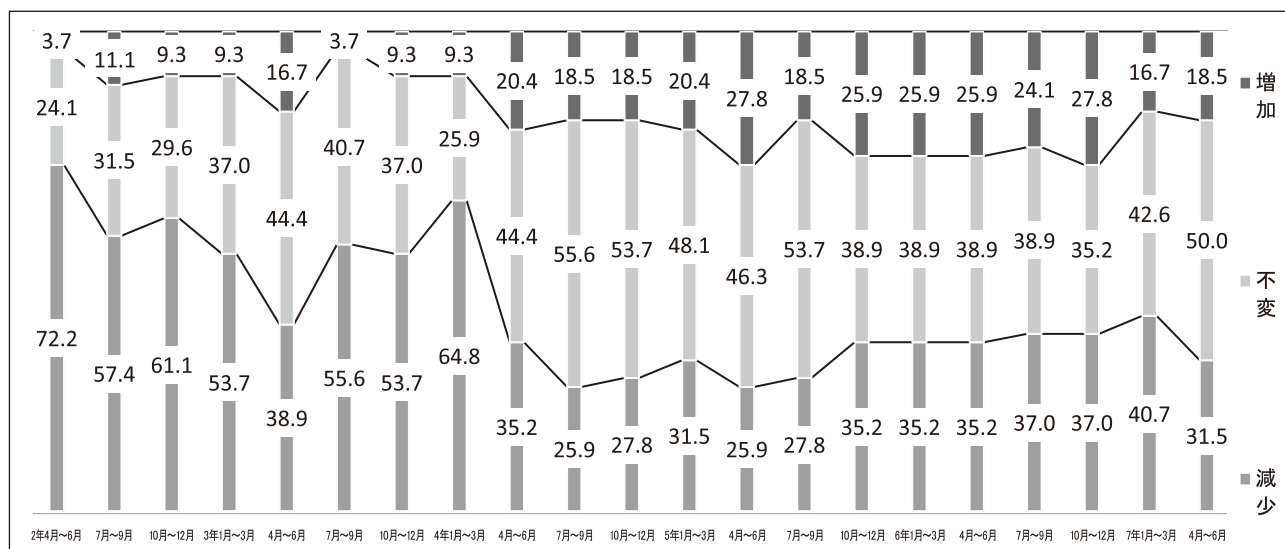
＜図5－1＞（岡山県）主要景況項目の推移



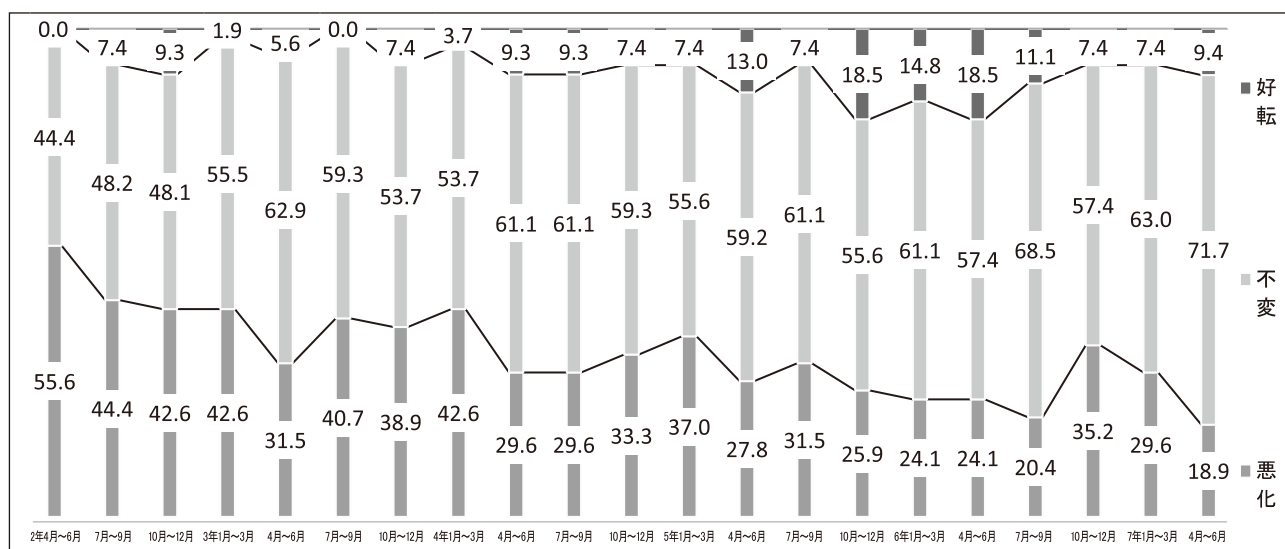


## (2) 主要3項目の状況 —前年同期比—

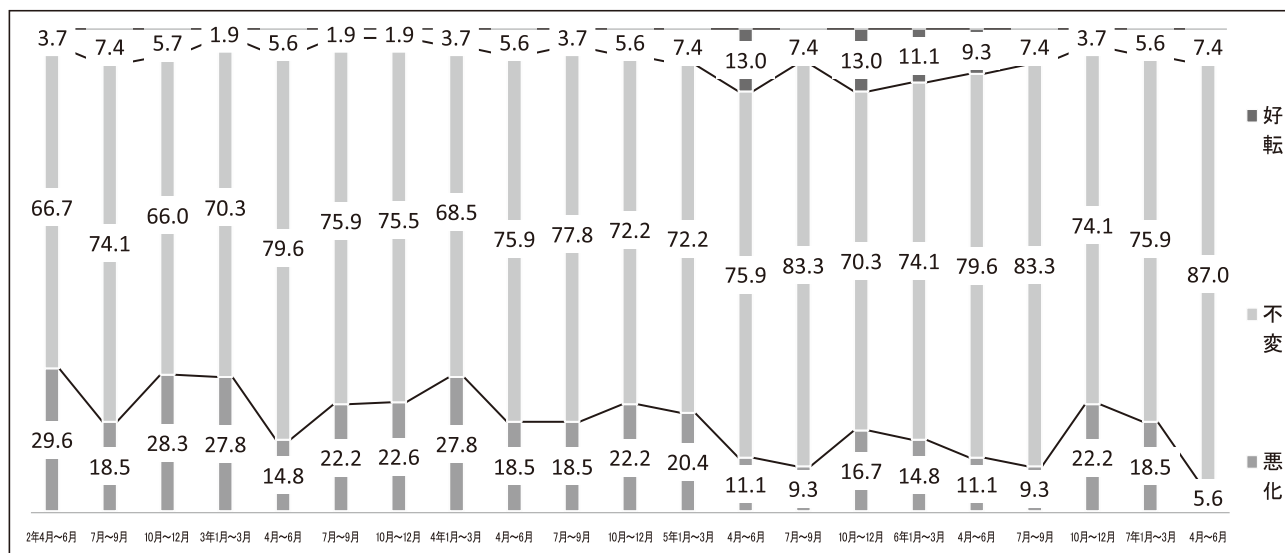
＜図5－2＞（岡山県）売上（収入）額の状況



＜図5－3＞（岡山県）採算の状況

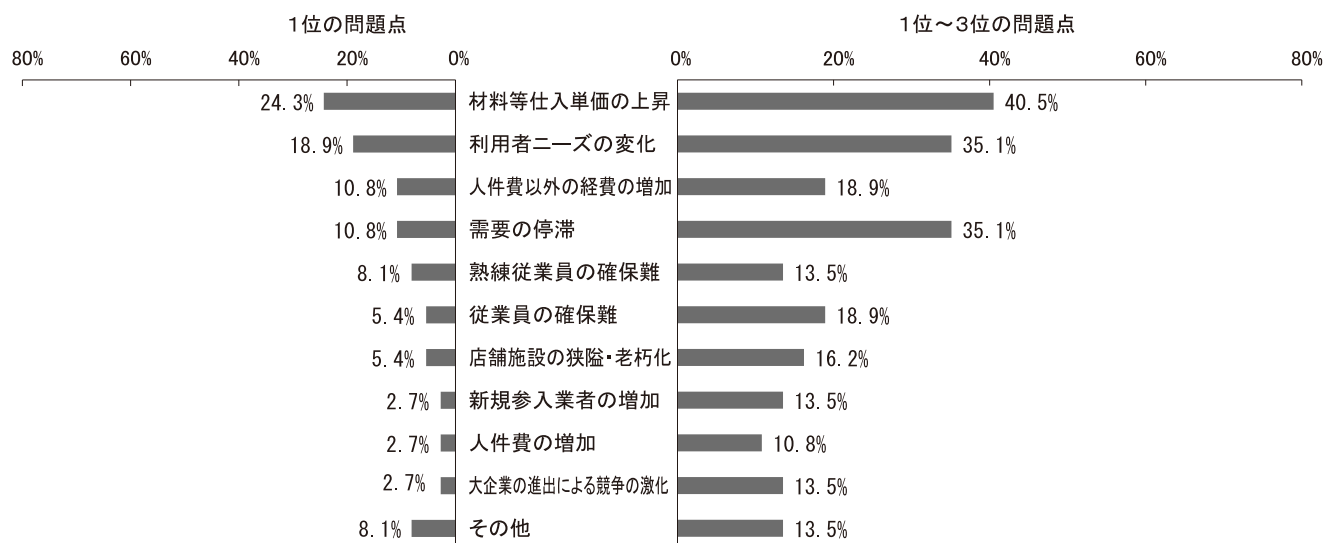


＜図5－4＞（岡山県）資金繰りの状況



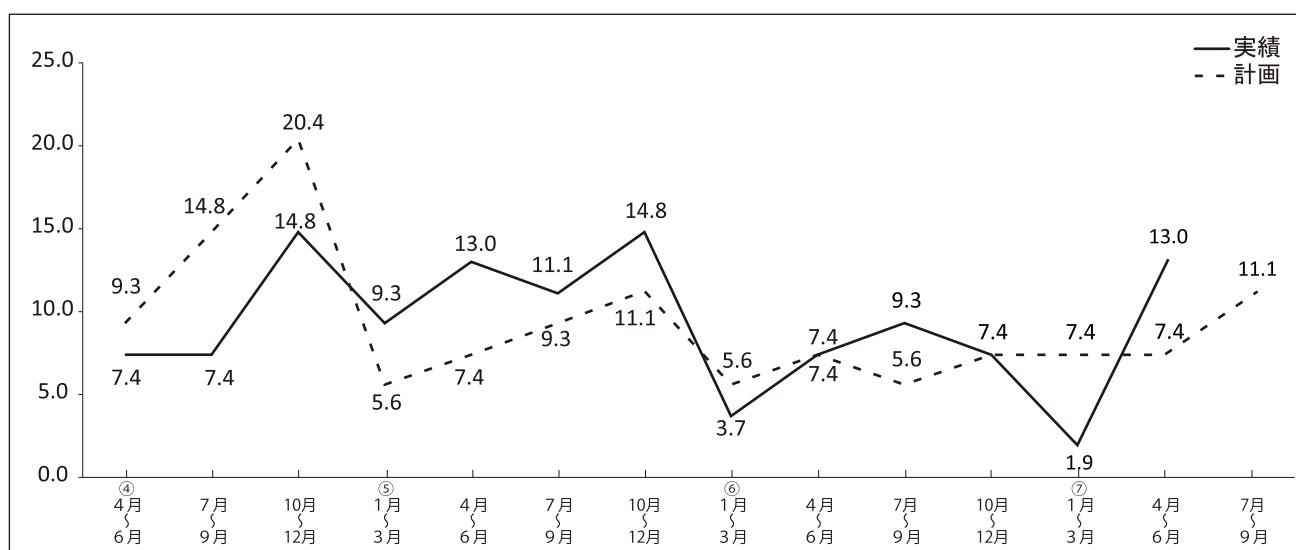
### （３）経営上の問題点の状況

＜図５－５＞（岡山県）経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）



### （４）設備投資の状況及び投資内訳

＜図５－６＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表５－１＞（岡山県）新規設備投資

	4年 4月 ～6月	4年 7月 ～9月	4年 10月 ～12月	5年 1月 ～3月	5年 4月 ～6月	5年 7月 ～9月	5年 10月 ～12月	6年 1月 ～3月	6年 4月 ～6月	6年 7月 ～9月	6年 10月 ～12月	7年 1月 ～3月	7年 4月 ～6月	7年 7月 ～9月
実施した 計画している	7.4 9.3	7.4 14.8	14.8 20.4	9.3 5.6	13.0 7.4	11.1 9.3	14.8 11.1	3.7 5.6	7.4 7.4	9.3 5.6	7.4 7.4	1.9 7.4	13.0 7.4	11.1
土地	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	20.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
建物	0.0 0.0	0.0 12.5	12.5 18.2	0.0 0.0	14.3 0.0	16.7 40.0	12.5 33.3	0.0 33.3	0.0 50.0	0.0 33.3	25.0 25.0	0.0 25.0	14.3 25.0	0.0
サービス	25.0 40.0	50.0 62.5	50.0 36.4	60.0 33.3	42.9 100.0	33.3 0.0	25.0 33.3	50.0 33.3	25.0 50.0	20.0 33.3	0.0 25.0	0.0 0.0	14.3 75.0	50.0
車両・運 搬具	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 9.1	20.0 0.0	14.3 0.0	16.7 0.0	12.5 16.7	0.0 0.0	50.0 0.0	20.0 33.3	25.0 0.0	100.0 25.0	0.0 0.0	16.7
付帯施設	25.0 20.0	50.0 0.0	25.0 9.1	20.0 0.0	14.3 0.0	33.3 40.0	12.5 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	20.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	50.0
OA機器	25.0 20.0	0.0 25.0	0.0 9.1	0.0 0.0	0.0 0.0	16.7 20.0	25.0 16.7	0.0 33.3	25.0 0.0	20.0 0.0	50.0 50.0	0.0 50.0	57.1 25.0	0.0
福利厚生 施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
その他	0.0 20.0	0.0 12.5	12.5 27.3	0.0 66.7	14.3 0.0	0.0 40.0	12.5 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	14.3 0.0	16.7
実施していない 計画していない	92.6 90.7	92.6 85.2	85.2 79.6	90.7 94.4	87.0 92.6	88.9 90.7	85.2 88.9	96.3 94.4	92.6 92.6	90.7 94.4	92.6 92.6	98.1 92.6	87.0 92.6	88.9

## (5) 主要景況項目の概況

＜表５－２＞（岡山県）サービス業（令和７年４月～６月）

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a)－(c)
売上（収入）額	今期	18.5	50.0	31.5	-13.0
	前期	16.7	42.6	40.7	-24.0
	今期－前期	1.8	7.4	-9.2	11.0
	来期	14.8	63.0	22.2	-7.4
	来期－今期	-3.7	13.0	-9.3	5.6
客単価	今期	22.2	68.5	9.3	12.9
	前期	5.6	77.7	16.7	-11.1
	今期－前期	16.6	-9.2	-7.4	24.0
利用客数	今期	14.8	53.7	31.5	-16.7
	前期	18.5	42.6	38.9	-20.4
	今期－前期	-3.7	11.1	-7.4	3.7
仕入単価（材料等）	今期	56.6	43.4	0.0	56.6
	前期	51.9	48.1	0.0	51.9
	今期－前期	4.7	-4.7	0.0	4.7
採算（経常利益）	今期	9.4	71.7	18.9	-9.5
	前期	7.4	63.0	29.6	-22.2
	今期－前期	2.0	8.7	-10.7	12.7
	来期	5.7	77.3	17.0	-11.3
	来期－今期	-3.7	5.6	-1.9	-1.8
従業員 （含臨時・パート）	今期	5.4	89.2	5.4	0.0
	前期	0.0	94.1	5.9	-5.9
	今期－前期	5.4	-4.9	-0.5	5.9
外部人材 （請負・派遣）	今期	4.8	95.2	0.0	4.8
	前期	0.0	95.5	4.5	-4.5
	今期－前期	4.8	-0.3	-4.5	9.3
業況（自社）	今期	11.1	70.4	18.5	-7.4
	前期	9.3	68.5	22.2	-12.9
	今期－前期	1.8	1.9	-3.7	5.5
	来期	9.3	77.7	13.0	-3.7
	来期－今期	-1.8	7.3	-5.5	3.7
資金繰り	今期	7.4	87.0	5.6	1.8
	前期	5.6	75.9	18.5	-12.9
	今期－前期	1.8	11.1	-12.9	14.7
	来期	3.7	88.9	7.4	-3.7
	来期－今期	-3.7	1.9	1.8	-5.5